

令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 1 子どもたちに輝く未来をつなぐ

主要課題	No. 13	青少年の健全育成と自主的な活動の支援
-------------	--------	--------------------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ● 主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。

4年後の目指す姿	青少年が、地域の大人や子どもたちとの関わりや、自主的な活動の体験・経験などを通して、自主性や社会性を身に付け、自立した大人へ成長できる環境が整備されている。
計画期間の方向性	<p>○青少年の社会参画を促す機会の提供 青少年健全育成会などの地域団体の活動を支援し、青少年が、家庭や学校だけでは経験することが難しい社会体験・社会参画の機会の充実に取り組みます。</p> <p>○中高生世代の自主的な活動を応援する環境整備 オープンから5年が経過した青少年プラザ（b-1ab）について、施設の利用促進に向けた更なる周知や、青少年健全育成会等との連携事業を推進するとともに、中高生世代の自主的な活動を応援する場の拡充について検討していきます。</p>

0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）

今後も感染状況を注視しながら、中高生世代の地域活動参加のきっかけや、活動の場の拡充、自主的な活動の支援に向けた取組を進めていきます。その一環として、青少年健全育成会等の地域イベントを青少年プラザ利用者に周知し、活動の幅の充実を図るとともに、中高生世代の地域活動への参加や参画のきっかけとなる仕組みづくりに取り組んでいきます。また、地域バランスを考慮した活動の場の拡充を図る取組についても進めていきます。

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で・何をしたか（実績）

戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。

事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割						事業費(千円)
56	青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	青少年健全育成会の活動を通じて、青少年に社会体験や社会参画等の機会を提供する。						10,879千円 (12,625千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 青少年（中高生）がスタッフとして参加したイベント数	件	15	13	0	4	13		
57	青少年の社会参加推進事業	児童青少年課	NPO等の活動を通じて、青少年の社会参加や自立を促進する。						470千円 (1,224千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 事業補助を行った団体数	団体	5	3	0	0	2		
	② 青少年（中高生）がスタッフとして参加したイベント数	件	8	5	0	0	2		
58	青少年プラザ（b-1ab）運営事業	児童青少年課	中高生の自主的な活動を支援し、社会参加や自立を促進する。						64,967千円 (64,836千円)
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 青少年プラザ利用者数	人	27,934	23,817	12,239	15,234	24,454		
	② 中高生が企画したイベント数	件	27	39	125	99	50		
	③ 地域のイベントに参画・協力した件数	件	3	3	0	1	5		

●特記事項（実績の補足）

新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、青少年健全育成会等の一部のイベントを開催することができました。また、礪川、湯島、根津の3地区の青少年健全育成会のイベントにおいて、青少年プラザの中高生スタッフが運営に携わりました。青少年プラザでは、令和4年3月に利用人数の制限を解除したことで、多くの中高生の来館があり、中高生が自主的に企画したイベント数も増加しました。

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）

人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。

チェック	チェック項目
無	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）
無	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）

3 現総合戦略における成果や課題は何か (点検・分析)

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じてないか」などを点検・分析します。

○青少年の社会参画を促す機会の提供

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、規模縮小やオンライン等の活用によるイベント開催となり、従来の活動ができませんでしたが、3年度は、屋外で実施した一部のイベントでボランティアとして中高生を受け入れることができました。

4年度は、一部制限はあるものの、感染対策を講じながら多くのイベントを実施しました。その中で、青少年がボランティアとして参加したイベントは、13件となり、青少年健全育成会九地区合同行事「こどもまつり」では、高校生45人がボランティアとして参加しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の活動を一部行うことができなかったため、引き続き、青少年の社会参画を促す機会の提供が必要です。

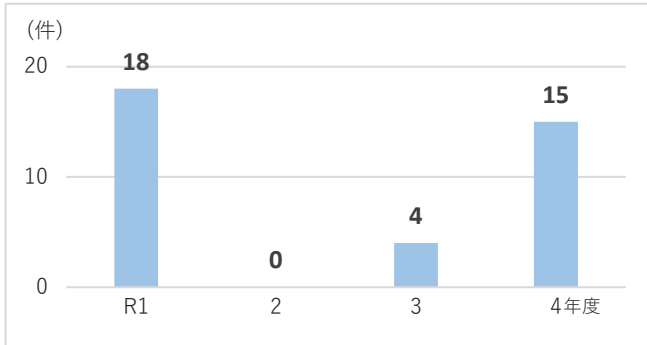
○中高生世代の自主的な活動を応援する環境整備

令和2・3年度は、新型コロナウイルス感染症対策により、青少年プラザにおいては、休館や利用人数の制限などで来館者数は半減し、加えて、館内での活動も縮小するなど、従来の活動ができませんでした。

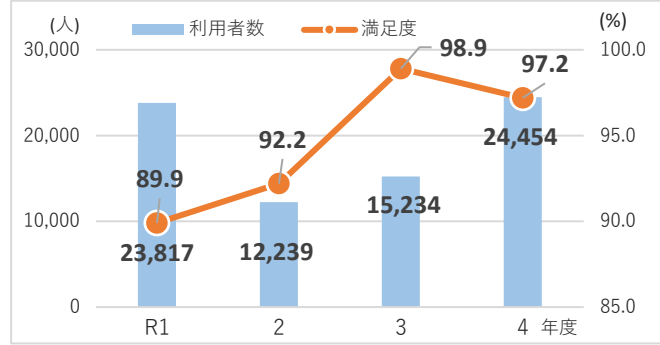
4年3月より利用人数の制限を解除したことで、4年度の利用者数は延べ24,454人となりました。また、一部のイベントは、従来に近い手法で開催することができ、実施件数は351件、そのうち中高生が自主的に企画・実施したイベント数は50件でした。

利用者満足度は、高い水準で推移していますが、引き続き、中高生世代の自主的な活動を応援する環境整備や、地域バランスを考慮した取組を行う必要があります。

●青少年健全育成会・社会参加推進事業イベント数



●青少年プラザ (b-lab) の利用者数及び利用者満足度



4 次期総合計画において、どのように進めていくか (展開)

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

青少年が、家庭や学校だけでは経験することが難しい社会体験・社会参画の機会の促進を図るために、青少年健全育成会などの地域団体の活動支援の充実に取り組みます。

また、青少年プラザ (b-lab) の施設の利用促進に向けた更なる周知や、大学との連携事業を推進するとともに、中高生世代の自主的な活動を応援する取組の充実や活動の場を拡充していきます。

5 6年度、事業をどうするか (事業の見直し)

主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
56	青少年健全育成会活動支援	児童青少年課	継続
57	青少年の社会参加推進事業	児童青少年課	継続
58	青少年プラザ (b-lab) 運営事業	児童青少年課	レベルアップ